

FOSE2016：ポスター発表でのフィードバック

発表題目：GitHubにおけるRockstarの活動と注目度の時系列分析

- ・ **開発者の社会性とRockstarは繋がっていない**（尾野さん, 他）
 - ここは私も疑問に思っていたところ
 - 先行研究ではまだ不十分（指摘 & 私自身もそう感じます）
- ・ **フォロワーをプロジェクト毎に分類してみるの？**（伊原先生, 他）
 - 「プロジェクトとの関係性（SM班MTG 8/24 の TODO）」
 - ・ すでに出てたけど, この時は実行できませんでした…
 - ・ フォロワーの積み上げグラフ作成中…
- ・ 開発者がどんなプロジェクトに所属していて, 何に興味があるのか？
 - 興味がなかったらそもそもそのプロジェクトに参加しないのでは？
- ・ とりあえず予測モデル出して, 評価してみたら？
 - それができたら苦労しない…

開発者の社会性とRockstarは繋がっていない

- ・ 言葉の定義の問題…
 - （正直, 今から方向転換はきついで…）
 - “社会性”という抽象的な言葉について, Rockstarに繋がるように言葉を考え直す

フォロワーをプロジェクト毎に分類してみるの？

- ・ やってみようと思います
 - 組織（organization）毎に積み上げグラフ（フォロワー数も同じく累積）
 - ・ フォロワーが組織に参加した場合, 随時その組織として追加していく
 - フォロワーが複数の組織に参加している場合
 - ・ 一番メインで活動している組織とする
 - コミット回数？
- 現在途中です…
- まだ2日でできるスキルはありません…

残りの2つについて

- ・ 卒論では無理かなと思っています
- ・ 開発者がどんなプロジェクトに所属していて、何に興味があるのか？
 - 確かに！興味ないプロジェクトに参加したいとは思わない > 何に興味があるかについては, follow / watch でわかりそう
 - 開発者の得意分野（言語など）がわかれば, コア開発者が不足した場合に一時的でも代わりまたは兼任してもらえたり？
 - GitHubは履歴書代わりにもなるので, 得意分野を生かしたい開発者もいそう
- ・ とりあえず予測モデル出して, 評価してみたら？
 - 予測はしたいけど, フォロー数のメトリクスを単純に加えたい訳ではない…
 - 希望はRockstar（フォロー数）の有用性を示したい
 - ただ, 春休みにやってみるのはいりかも…
 - 単純に従来のメトリクス + フォローで…
 - モデル作成の練習にもなりそう

卒論に向けて

- ・ 目的は, “社会性”を納得してもらえるように説明できたら前と同じ
 - Rockstarを社会性の最たるものと仮定するした上で, 分析
- ・ アプローチは, 変わらずRockstarの分析
- ・ 522人のRockstarを全部調査しようと思います
 - Wikipediaに載っているかどうかで著名人かどうか判断
 - 他のサイトや個人サイトの確認
 - 所有しているプロジェクトの最大watch数
 - Rockstarの所属組織・時期

まとめ

- ・ TODO

- 社会性について, Rockstarに繋がるように言葉を考え直す
- 組織 (organization) 毎に積み上げグラフ
- その他？

- ・ 未消化TODO

- 表作成 (毎週すみません…, Q : Rで作るのか / TeXで作るのか)
- **Rockstarをフォローしていない人**をどう定義するか…
 - 最低, following or follower は 1 or 2 以上？
 - ・ 1の理由：“登録しただけ”ではなさそう
 - ・ 2の理由：最低限の社会性を保証できそう (following > 2 ということは, 最低3人の人間がいる > 社会性？) (裏アカで, 自分の本アカフォローなど, 排除したい)
 - 上のフィルタリングが無意味なら, 本気でランダム
 - ・ 散布図はすぐできるので, 全部してみるのもあり？

FOSEに参加した感想

- ・ 有意義な意見をもらえた
 - 先生方は説明不足なポスターの中から噛み砕いた上でアドバイスをくれた
 - ・ それ意味ある？みたいな意見はなかった（不毛なことと言うような人はきっと来ないのか）
 - 院生の人の指摘も参考になった
 - ・ 東さんが対応してくれた & 院生同士で会話をしていたから厳しい言葉をもらえたのかも（面と向かっては言ってくれないのかも…）
- ・ 研究の議論（になってたかはわからないけれど）をしてもらえて楽しかった & 有り難かった
 - **普段のMTGではほとんどない経験**（私が議論してもらえるような題材を用意しないのが悪いのですね）
 - 違う分野でもわからないことをわからないということや厳しい突っ込みでも指摘する大切さを実感しました > 有り難い
- ・ 研究が不完全でもどんどん参加して外部からのフィードバックをもらいたいと思いました